



司 会 ①村上洋兄 ②上田兄 ③土屋英兄
奏 楽
祈 禱 ①三浦兄 ②石塚兄

賛 美 聖歌464番「罪とがをゆるされ神の子とせられ」
(花咲く野原のように)(主イエスをほめよ)

十 戒

聖 書 ①② ルカによる福音書24章28～36節 (P134)
③ ヘブル人への手紙12章1～8節 (P356)

音 楽 ① 北島美佐子姉(伴奏:白鳥直美姉)
②③ 香月健兄・原田恵姉(伴奏:坪井香姉)
証 詞 ①② 原健次郎兄(バルナバ会)

メッセージ ①② 「続・キリストにならい歩む」 坪井永城副牧師
③ 「耐え忍んで走りぬこう」 大川従道牧師

賛 美 「大波のように神の愛が」(献金)
頌 栄 「主の祈り」 アーメン
祝 禱

「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから
目を離さないでいなさい。」(ヘブル十二の二・新改訳)

【大和ニュース】

☆受洗おめでとうございます！①小川兄(ヨシュア会)

☆本日「子供祝福式」です。7才以下のお子様は、前にお進みください。

・ 入門講座Ⅱ(倉知師)、モーセ会、SS主任会、J. Plus、YYタイム(森・12:30)

・ 今週も祈禱会を大切に！①水曜夜は菅原岳先生 ②木曜朝は久保田伝道師
③金曜夜は大野メディア伝道師

・ 「ICA説明会」は、森チャペルにて、16日(木)13:00。

・ 土曜スクールは土曜朝9時半(森チャペル)。中高生フットサルは9時(Tipi)担当梅津師。

* フリーマーケットは大成功！ 売り上げは、393,382 円でした。ご協力を感謝！

石の枕

11月6日(月)は、13才の少年大川が、十字架のイエス様の前で、涙を流して罪を悔い改め、主なるキリスト様を、救い主として、心の王座にお迎えした日です。62年前の日曜日の朝のことを、今でもハッキリと憶えている。その時、生まれ変えられた！ポーンアゲンクリスチャンになって、「神第一」「キリスト様のために何でもする」「主のしもべ」になった。あれから半世紀以上たつが、その時の喜びの泉は、日々新たなり。「I am so happy!うれしくて

ありがたくって、感謝いっぱい!!」の人生だ。書斎にて大声でハレルヤ!と叫び、祝いの時に使うクラッカーを2個もハレツさせて、天使たちとはしゃいだ。

天国でも、私の関係者が、大さわぎして喜んでくれている。ハレルヤ!!

次のコラムは、少々高尚(後半は哄笑)。

先週のこと、朝日新聞の土曜版be欄で、カトリックの信徒さんで、批評家で、随筆家の「若松英輔氏」とお会いした。なんとタイトルは『言葉を運ぶ口バでありたい』。著者は時々Eテレに登場するが、井上洋治神父の影響も受けているらしい。その笑顔は、気さくで軽やか、その語り口も滑らか。

母親に連れられ、子供のころから教会に通っていました。「知ること」より「信じること」の意味を学んだと思います。信じればいい、ではなく、信じてみなければわからない世界があることを。(ヨハネ福音書1章と12章参照)

少年時代、新潟県糸魚川でザリガニ捕りや野球が好きで、神父になるのが夢だった。(私も安倍川でザリガニや小魚を取ってトタンの上で焼いて食べた。ハチの巣を襲い、ハチの子を食べようとしたら、反対にハチの軍隊に襲われ、あちこち刺され敗北。刺された跡が赤くはれあがり、薬も買えない時代だったから、イタズラ坊主同士で、オシッコをかけ合って痛みを止め。懐かしい低俗の思い出)

<シルバー川柳より> 付いて来い 言った家内に 付いて行く
通帳に 暗証番号 書いている
コンビニに 旦那まかせて 旅に出る

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:ヘブル9章~13章 Bコース:エゼキエル書1章~19章